

梅香る通信

発行日：平成23年 9月15日

No. 11

新富町立新田中学校

文責：校長 緒方宗雄

『己を信じて』

体育大会が終わった
あの日、君の走る姿があった
あなたの声が響いていた
多くの来賓や保護者の皆様から声援を受け、懸命に競技し応援したあなた
私は嬉しかった、あなたの一所懸命さが
私は感謝している、
あなたと声援をいただいた方々に
あなたの心に何が残っているだろうか
満足したあなたがいますか
感激の涙が浮かぶあなたですか
完全燃焼した後の浮遊感ですか
そして、それはこれから
どう活かされるのでしょうか
さて、また今日から新たなスタートだ
いい大会を ありがとう！



[あの日、ここで、確かに・・・]



【自律】

一人の時の自分
仲間と一緒にの時の自分
みんなが居る時の自分
微妙に変化する自分が居ることを
意識しているだろうか
強がることのできる場面
小さくなって何も言えない場面
どれもこれも自分の姿に違いない
しかし、自分は自分で居たい
周囲に流されるのではなく
自分で考え、自分で判断したんだと
自分で責任をとれる自分でありたい
勉強はそのためにあるのかも知れない
自分が自分であるための勉強
今日も、しっかり取り組みたい
自律を目指して！

“季節感”

日中の暑さはまだまだ残るが、朝夕の風は確実に夏が過ぎようとしていることを告げているようだ。

校庭に銀杏の実が落ちる頃となった。掲揚台の裏には栗の実がふくらんでいる。そう言えば先日は“十五夜”一段と大きな月が雲間に見られた。

この季節は果物が多くある。梨はみずみずしいのが好きだ。毎日でも食べたい。また近年、栗が気になる。義理の父母の影響だが、「栗の渋皮甘煮」を毎年数回自分でもつくっている。皮をむいたり、つまようじ等を使って一つ一つ渋皮をきれいにする。ソーダ水で煮る。砂糖で味付けをする。半日かかりだが、おいしい栗に満足する一時である。今年も甘い栗作りを楽しみたい。

